

川ごみサミットの開催趣旨



2019年11月9日

全国川ごみネットワーク

これまでの経緯

①社会的背景

「海岸漂着物処理推進法」(2009年制定)

⇒2018年6月

- ・回収、処理対策の継続、漂流・海底ごみ対応。

改正

＋普及啓発・発生抑制が今後の焦点に！

②市民団体の動き

- ・全国各地でも川ごみ対策が課題に・・・

- ・拾うだけでなく、川への流入を減らす根本解決が不可欠

・・・1団体だけでは解決できない。

互いに情報交換しながら、解決に向かう！



川ごみサミット開催

- ・2013年市民団体間で、ゆるやかな連携・情報交換を開始
- ・2015年全国川ごみネットワークを設立

第1回川ごみサミット



(2015.1.23-24)東京都

第2回川ごみサミット



(2016.1.22)東京都

川ごみサミット開催

- ・2013年市民団体間で、ゆるやかな連携・情報交換を開始
- ・2015年全国川ごみネットワークを設立

第3回川ごみサミット



(2017.3.4)京都府亀岡市

第4回川ごみサミット



(2018.11.24)長野県下諏訪町

川ごみサミット開催

第1回川ごみサミット宣言

- 第1 課題の共有と目標の設定
- 第2 解決に向けた方策の検討・立案
- 第3 行動プログラムの実行と社会的制度の整備・構築

これらの活動の継続が必要

ごみは街中⇒川⇒海と流れて行く。街中でのごみの発生を抑えて、根本的解決を目指す。

最近の動き

2018年6月 海洋プラスチック憲章に、日本とアメリカは署名せず

2018年6月 海岸漂着物処理推進法 改正

マイクロプラスチック問題

2018年8月 プラスチック・スマートキャンペーン

2019年5月 プラスチック資源循環戦略

2019年6月 G20 大阪ブルー・オーシャン・ビジョン

企業の減プラスチックの取組

2019年9月 買い物用プラスチック袋の有料化決定（2020年7月からの実施予定）



第5回川ごみサミットinとくしま 開催に当たって

〈開催に当たって〉

- ごみが海に出る前に、川や湖、町のごみの発生抑制が大切。
- 徳島県では、今年2月9日に、「海岸保全・海ごみ対策フォーラムinとくしま」を開催（海部郡牟岐町）。
さかなクンによる講演と渚のプラごみ回収を行って、川ごみ、海ごみに関する関心が高まっている。
- 徳島県では身近な海である里海を育て、次世代に継承して行くリーダーの認定を開始。「SATOUMI ジュニアリーダー」である、神山町・広野小学校による「川ごみ清掃活動」の発表も予定。

第5回川ごみサミットinとくしま 開催に当たって

<開催趣旨>

- 川ごみ問題の解決に向けた徳島ならではの取組み、各地域の事例発表、日本三大暴れ川として名高い利根川・筑後川・吉野川の交流活動紹介などを通じ、**全国の仲間が交流・情報交換することによって、川ごみ・海ごみ問題の解決のための知恵を出し合う。**
- 我々の活動を広く知って頂くことを通じて、**一般市民の川ごみ・海ごみ問題に対する関心を呼び起こす。**
- 「川のプラスチックごみ削減」を通じて「地球規模の課題解決」を目指す。**

